発信人 日本国特許庁 (国際調査機関)

*村 満 RECEIVED					
あて名 「FD 2 2 200c					
1 078 1 57900 1 1					
〒 101-0054 ASHIDA & KIMURA 国際調査機関の見解書 (法施行規則第40条の2)					
東京都千代田区神田錦町二丁目 7番地 (PCT規則43の2.1) 協販ビル 2階					
発送日 (日. 月. 年) 22. 2. 2005					
出願人又は代理人 今後の手続きについては、下記2を参照すること。 の書類記号 04F022-PCT					
国際出願番号 国際出願日 優先日					
PCT/JP2004/016665 (日.月.年) 10. 11. 2004 (日.月.年) 14. 11. 2003					
国際特許分類 (IPC) Int. Cl' A61B1/04					
出願人(氏名又は名称)					
出願人 (氏名又は名称) 株式会社アプリコット					
1. この見解書は次の内容を含む。 × 第 I 欄 見解の基礎					
□ 第I 欄 優先権					
第Ⅲ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成					
第IV欄 発明の単一性の欠如					
× 第V棡 PCT規則43の2.1(a)(i)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、 それを裏付けるための文献及び説明					
第VI欄 ある種の引用文献					
│ 第Ⅵ欄 国際出願の不備					
第122 第122 第122 第122 第122 第122 第122 第12					
2. 今後の手続き					
国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際調査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国際予備審査機関がPCT規則66.1の2(b)の規定に基づいて国際調査機関の見解書を国際予備審査機関の見解書とみなさない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見解書は国際予備審査機関の最初の見解書とみなされる。					
は、日を国際事務局に通知していた場合を除いて、この兄解督は国際ア偏番食機関の最初の見解者とみなされる。 					
この見解書が上記のように国際予備審査機関の見解書とみなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日か					
63月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満了する期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当 な場合は補正書とともに、答弁書を提出することができる。					
さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照すること。					
3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考を参照すること。					
見解書を作成した日 01.02.2005					
名称及びあて先 特許庁審査官(権限のある職員) 2W 980					
日本国特許庁(ISA/JP) 右高 孝幸					
郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号 電話番号 03-3581-1101 内線 3290					

第 I 欄 見解の基礎						
1. この見解書は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎として作成された。						
この見解書は、 語による翻訳文を基礎として作成した。 それは国際調査のために提出されたPCT規則12.3及び23.1(b)にいう翻訳文の言語である。						
2. この国際出願で開示されかつ請求の範囲に係る発明に不可欠なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、 以下に基づき見解書を作成した。						
a . タイプ	配列表					
	■ 配列表に関連するテーブル					
b. フォーマット	書面					
	コンピュータ読み取り可能な形式					
c. 提出時期	出願時の国際出願に含まれる					
	この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された					
	出願後に、調査のために、この国際調査機関に提出された					
3. さらに、配列表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出した配列が出願時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった。						
4. 補足意見:						
	•					

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についてのPCT規則43の2.1(a)(i)に定める見解、 それを裏付る文献及び説明					
1. 見解					
新規性(N)	請求の範囲 _ 請求の範囲 _	1-12	有		
進歩性(IS)	請求の範囲 請求の範囲 _	1-12	· 		
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲 _ 請求の範囲 _	1-12			

2. 文献及び説明

文献1: JP 4-341232 A

請求の範囲1-12について

文献1には、複数の視野の周縁部が隣接する他の視野の周縁部と重複するように3つ以上の対物光学手段を備え、3次元パノラマ画像を生成する内視鏡装置が記載されている。(2欄7行目-3欄31行目、4欄23-39行目、20欄49行目-22欄17行目、図1,6,7,36,37参照。)

よって、請求の範囲1-12に記載された発明は**文献**1に記載されているので、新規性を有しない。